

# 平成27年度 未来を担う人間力を身につけた子どもを育成する長門石小学校プラン

## 一人ひとりが、いきいきとかがやく学校の創造

長門石小4つの約束 ①人の話を最後まで聞きます ②生活のきまりを守ります  
③何事もあきらめずにやりとげます ④しっかり勉強します

### 〈教育改革の目標:「笑顔で学ぶくるめっ子」に向かって〉

#### 「豊かな心」の育成

- ◎ 自他の生き方や生命を大切に、夢と志をもって前進する子どもを育てる教育活動の推進
- いじめ防止基本方針に基づく言葉遣いやあいさつをはじめとする言語環境の充実
- 友達や保護者、地域の前で自己表現して賞賛を受け、自尊感情を高める場の設定

#### 「確かな学力」の育成

- ◎ 学力実態調査の詳細な結果分析をもとにした授業づくりと補充学習による学力の保障と向上
- 一単位時間に、「書く活動①→交流→書く活動②」を位置づけた授業づくりの工夫
- 基礎・基本の補充をめざす「長門石っ子タイム」「学びタイム」の充実

#### 「健やかな体」の育成

- ◎ 運動への関心・意欲を持ち、友達とともに遊んだり、運動したりしようとする子どもの育成
- 体育の準備運動として、柔軟性や機敏性を高めるグルーptrainingの実施 (1校1取組運動)
- 学級活動(2)における食に関する指導の工夫と給食の残食を減らす指導の充実



#### 家庭・地域との連携と学校力の向上

- ◎ 学校力を高める自主研修の推進と学校・家庭・地域連携による児童の健全育成
- 明日からの実践にすぐ役立つミニ学習会を教師持ち回りで実施
- 地域連携の内容を昨年度より幅広く位置づけた長門石フェスタの実施

### 教育改革の実施基盤

信頼される教師

充実・深化した特別支援教育

人権が尊重される教育の場

家庭・地域の教育力

## 平成27年度 長門石小学校プラン推進の重点

	「健やかな体」の育成	「豊かな心」の育成	「確かな学力」の育成	家庭・地域との連携、学校力の向上
<b>重点目標</b>	◎運動への関心・意欲を持ち、友達とともに遊んだり運動したりしようとする子どもの育成	◎自他の生き方や生命を大切に、夢と志をもって前進する子どもを育てる教育活動の推進	◎学力実態調査の詳細な結果分析をもとにした授業づくりと補充学習による学力の保障と向上	◎学校力を高める自主研修の推進と学校・家庭・地域連携による児童の健全育成
<b>実態と課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の体力テストの結果、前年度より数値が伸びた種目が多い中、体の柔軟性に課題が見られる学年が多かった。</li> <li>・学級活動(2)で、食を題材にした指導に栄養職員が参加して授業を行ったが、全学年ではなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域学校協議会委員から、「あいさつは随分よくなったが、言葉遣いがよくない」との指摘があり、その改善が課題である。</li> <li>・市生活実態調査で、「自分にはよいところがある」と答えた児童の割合が68%しかなく、自尊感情の低さ克服が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市学力実態調査の国語科において、「書く力」は少しずつ高まってきている。さらに言語活動の充実と支援の工夫が必要である。</li> <li>・市学力実態調査の算数科において、「知識・理解」「数学的な考え方」に課題があり、基礎・基本の定着が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修の研究授業や授業検討会が日常の授業改善になかなかつながっていかず、研修の日常化が大きな課題である。</li> <li>・昨年度、初めて地域の方が参画する長門石フェスタとなった。本年度は、計画立案や実施への地域参画をより拡充していきたい。</li> </ul>
<b>具体的な取組の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の準備運動として、ペアやグループでの柔軟体操を積極的に取り入れ、体の柔軟性を高める。(1校1取組運動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中や日頃の生活場面の中で、不適切な言葉遣いを耳にしたら即座にモデルを示して言い直させ、できたらほめる指導を全職員で粘り強く行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてや発問を工夫し、叙述に即して読み取った考えを書き、交流後は考えの変容をまとめとして自分の力で書く学習活動を日常の授業で積み上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日からの授業実践にすぐに役立つ自主的なミニ学習会を、各教師の得意分野に基づいた持ち回りで実施し、一人一人の教師の実践的指導力を伸ばす。</li> </ul>
※いつ・だれが・どのようにを記入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動(2)において、全学年で食を題材にした指導を1時間は必ず行う。給食では、栄養士による巡回指導や担任による指導を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校朝会や長門石フェスタ、日常の学習等の中で、様々な人を前にした舞台に立って、存分に自己表現できる場を数多く準備するとともに賞賛する場を位置づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の補充をめざす毎朝15分間の「長門石っ子タイム」の完全実施。高学年で、習熟度別に指導する年間10時間の「学びタイム」の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備委員会である長門石フェスタ実行委員会に、地域からより幅広い方々が参画されるよう、教頭を中心に各自治会や社会体育へ積極的に働きかける。</li> </ul>
<b>目標達成の評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストで、3/6学年が昨年度より「上体起こし」「長座体前屈」の数値が上昇</li> <li>・体力アップシートの活用100%</li> <li>・スポコン広場登録2学級</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動(2)において年間1時間以上の食に関する指導を養護教諭、栄養職員をGTとして実施。給食では、残食量が前年度より1割減。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者へのアンケートで、言葉遣いに関する肯定的回答が7割以上</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市生活実態調査で、「自分にはよいところがある」と答える割合が全児童の75%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市学力実態調査において、国語科「書く力」が目標に達している児童が7割以上</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市学力実態調査において、算数科「知識・理解」「数学的な考え方」が目標に達している児童が7割以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修での研究授業を全員各1回実施するとともに、教師持ち回りの自主的ミニ学習会を年間6回実施</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長門石フェスタ実行委員会やフェスタ当日に参加される地域の方の人数が昨年度より増加</li> </ul>